

WebFOCUS インストール手順書 for App Studio Version 9.3.5

本手順書では、WebFOCUS App Studio のインストールと構成のために必要な作業手順を記載しています。必ずご一読の上、手順に従ってインストールを行ってください。

本手順書では、WebFOCUS App Studio をインストールするための最低限、かつ日本語環境で推奨される設定手順について説明しており、WebFOCUS App Studio のすべての構成内容における手順を網羅、説明するものではありません。

WebFOCUS App Studio の詳細なインストールと構成手順は、「WebFOCUS App Studio インストールガイド」を参照してください。

WebFOCUS App Studio インストールの基本手順

1 章： WebFOCUS App Studio インストール手順

P3~8

- WebFOCUS App Studio のインストール
- Open JDK の適用

1章 WebFOCUS App Studio インストール手順

WebFOCUS App Studio のインストール、およびインストール後に必要な設定は、以下の手順を実施してください。

WebFOCUS App Studio のインストール

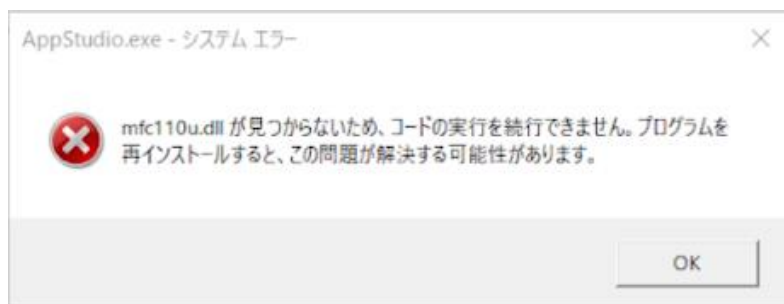
【事前確認】

- WebFOCUS App Studio を新規または更新インストールします。ただし、WebFOCUS 8.2.06 または 8.2.07 からの更新インストールはできません。同一メジャーバージョンでのみ更新インストールができます。詳細は、『ibi™ WebFOCUS® App Studio Installation and Configuration』をご確認ください。
- 新規インストールで以前のバージョンをインストールしている場合、該当バージョンのインストールガイドに従ってアンインストールを行ってください。
- WebFOCUS App Studio は OS の管理者権限を持つユーザでインストールを実施してください。
- WebFOCUS App Studio は下記ディレクトリにインストールします。C ドライブ以外にインストールする場合には、インストール手順中の「インストール先の選択」で、ドライブレター部分を変更してください。

【WebFOCUS App Studio インストールディレクトリ】

例：C:\ibi¥AppStudio93

- WebFOCUS App Studio の稼働には、Microsoft Visual Studio 2012 の Visual C++ ライブラリのランタイムコンポーネントが必要です。WebFOCUS App Studio をインストール後、起動時に以下のメッセージが表示される場合は、マイクロソフトのサイト (<https://www.microsoft.com>) から Visual Studio 2012 の Visual C++ 再頒布可能パッケージ (X64 版) をダウンロードして、インストールしてください。



【Visual Studio 2012 の Visual C++ 再頒布可能パッケージ (X64 版) ダウンロード URL】

<https://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=30679>

※2025 年 10 月 31 日時点で有効な URL です。今後、変更される可能性があります。

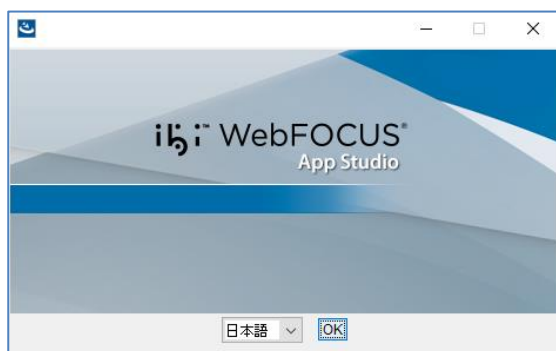
以下の手順で WebFOCUS App Studio のインストールを行ってください。

ibi ディレクトリにある [IBI_wf-as_9.3.*_win_x86_64.exe](#) をダブルクリックします。

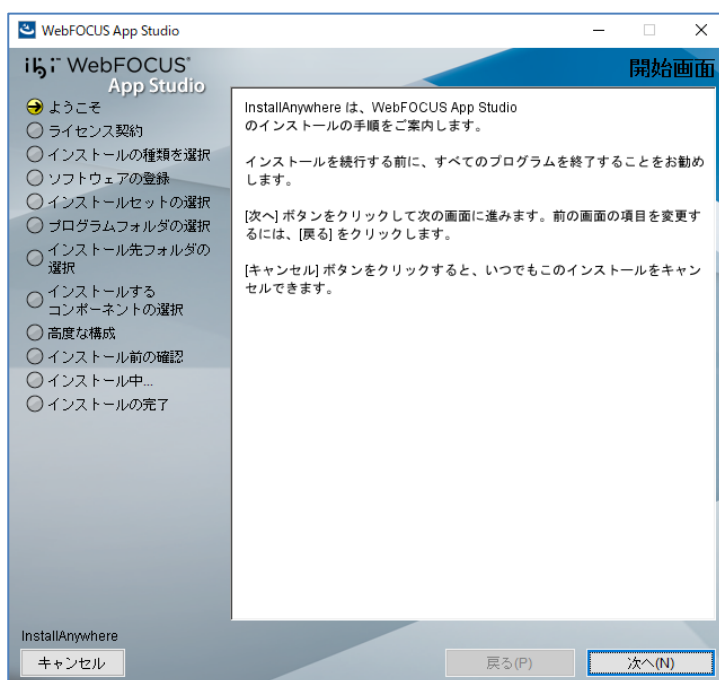
※ インストールモジュールのファイル名は、バージョンにより異なる場合があります。

下記の記載手順は、新規インストールです。更新インストールを実施する場合は、ポップアップ画面の「OK」または「次へ」ボタンをクリックし、インストールを完了させます。

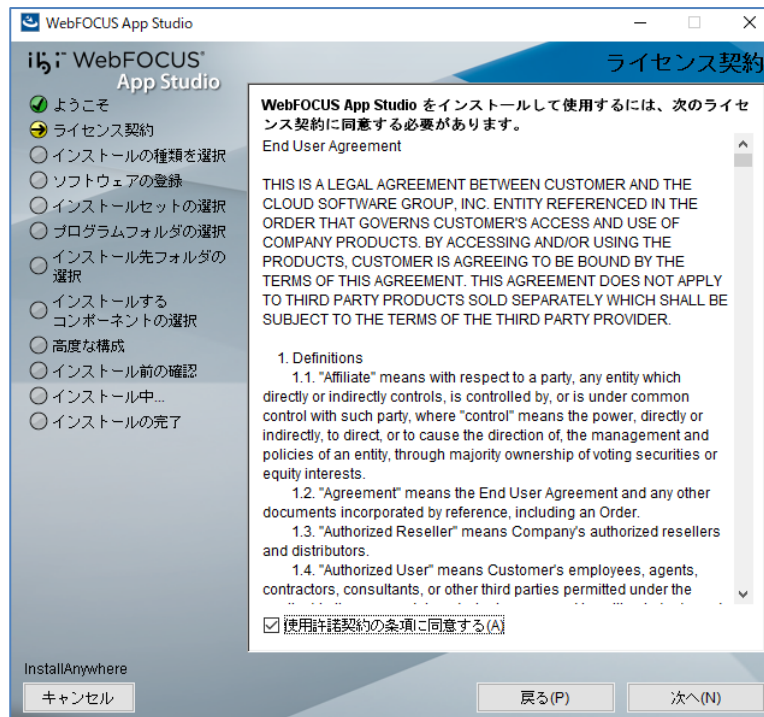
1. 言語を選択する画面が表示されますので、適切な言語を選択し、「OK」をクリックします。



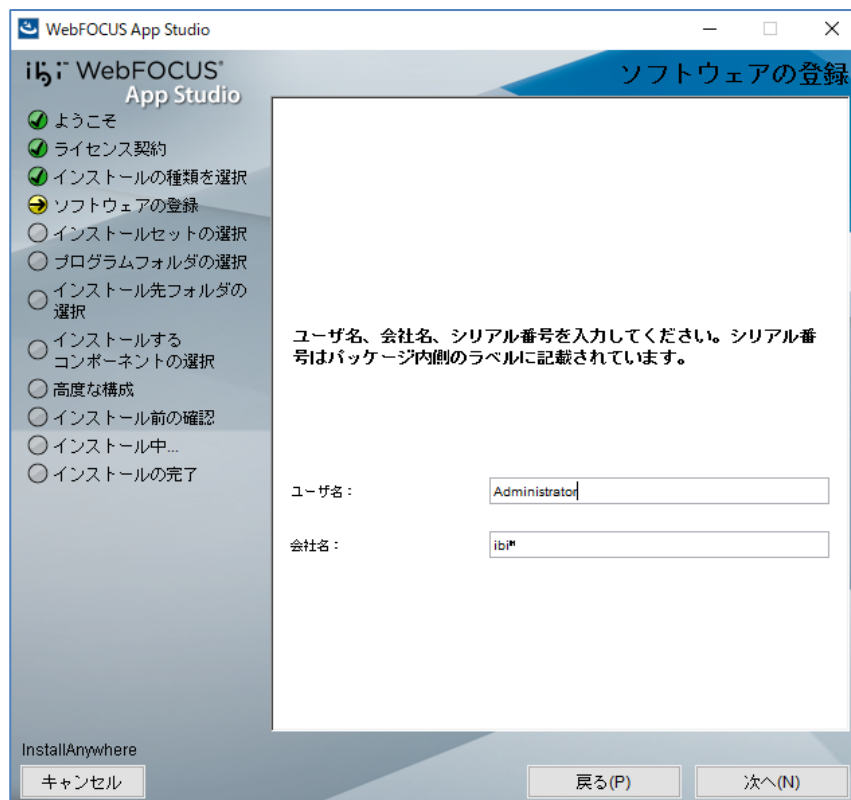
2. インストールの開始画面が表示されますので、「次へ」をクリックします。



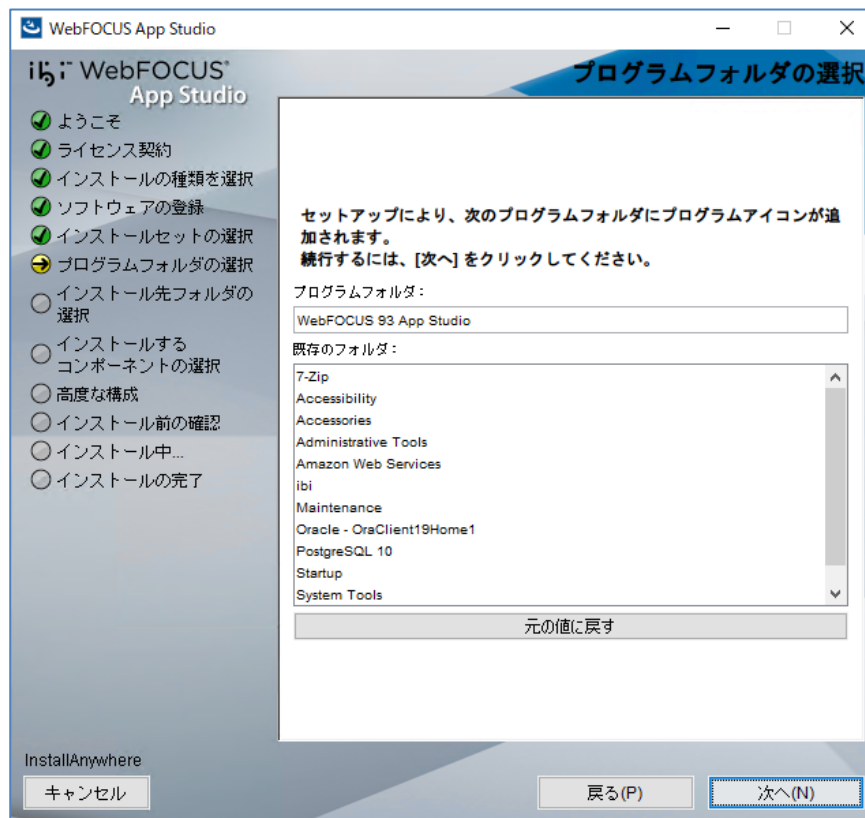
3. 「ライセンス契約」画面が開きますので、「使用許諾契約の条項に同意する」にチェックをし、「次へ」をクリックします。



4. 「ユーザ名」と「会社名」を入力し、「次へ」をクリックします。

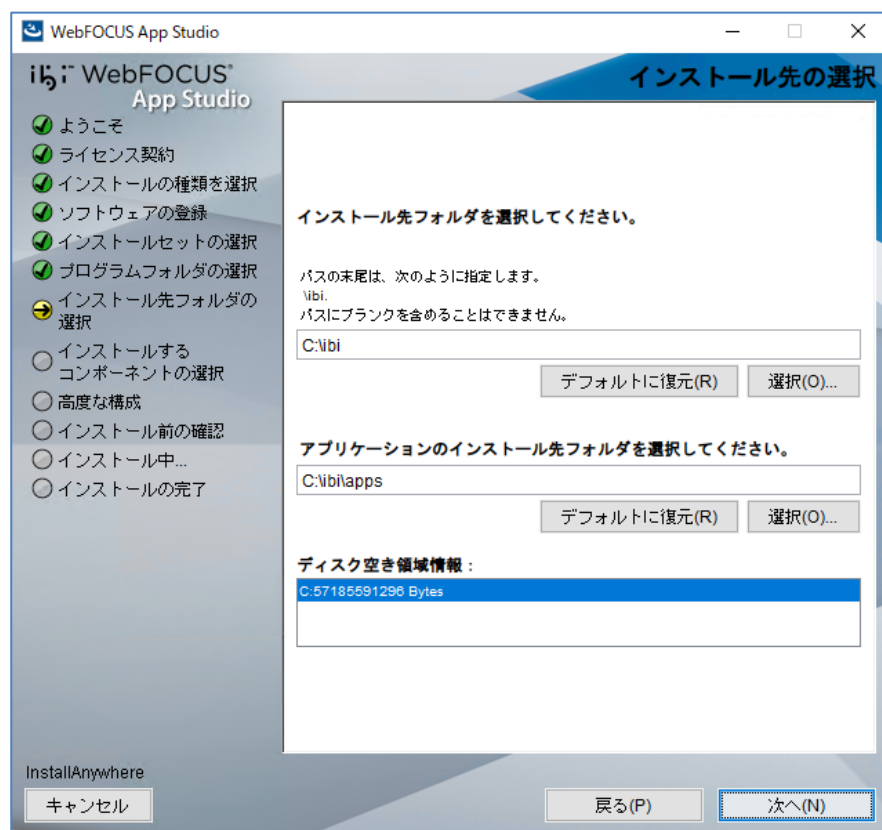


5. 「プログラムフォルダの選択」画面で、「次へ」をクリックします。



6. 「インストール先の選択」画面で下記を指定し、「次へ」をクリックします。

設定項目	チェック	設定値	備考
インストール先フォルダ		C:\ibi	※要件に合わせて変更可
アプリケーションの インストール先フォルダ		C:\ibi\apps	※要件に合わせて変更可



7. 「インストール前の確認」画面が開きますので、内容を確認し、「インストール」をクリックします。インストールが開始されます。
8. 「インストールの完了」画面が開きますので、「完了」をクリックします。

以上で WebFOCUS App Studio のインストールは終了です。

OpenJDK の適用

【事前確認】

OpenJDK は WebFOCUS App Studio をインストールしたディレクトリに含まれる Oracle Java SE に置き換える形で適用します。OpenJDK を適用する前に WebFOCUS App Studio をインストールしたドライブ、ディレクトリを確認してください。

WebFOCUS App Studio インストールディレクトリ:

例 : C:\ibi¥AppStudio93

パッチが含まれるインストールモジュールのディレクトリ

javaAS

OpenJDK の適用手順

バッチファイルの編集

※WebFOCUS 9.2.x以前のバージョンから更新インストールした場合は、OpenJDK 適用バッチファイル、ojdk.bat 内に記述されているディレクトリ名を現行のディレクトリ名に書き換える必要があります。新規インストールの場合は編集不要です。

変更前の例 : XCOPY /E /H /C /I /Y "%in_pass%jdk" "%out_pass%¥AppStudio93¥jdk"

変更後の例 : XCOPY /E /H /C /I /Y "%in_pass%jdk" "%out_pass%¥AppStudio93¥jdk"

バッチファイルの実行

1. インストールモジュール配下の java フォルダを WebFOCUS インストールディレクトリ直下に コピーします。
2. drive:\ibi¥javaAS¥ojdk.bat を右クリックし、[管理者として実行]を選択します。
3. 実行すると、WebFOCUS App Studio インストールディレクトリの選択が求められます。WebFOCUS をインストールしたドライブを入力し、エンターキーを押下してください。

インストールドライブを入力してください（例: C:）:

4. バッチ実行後、正常に OpenJDK が適用された場合、以下のメッセージが表示されます。

Java を OpenJDK (Temurin) に置き換えました。

openjdk version "11.0.28" 2025-01-21

OpenJDK Runtime Environment Temurin-11.0.28+6 (build 11.0.28+6)

5. ブラウザのキャッシュを削除します。

注意 : OpenJDK 適用前ファイル (Oracle Java SE) はバックアップフォルダ、ibi¥AppStudio93¥jdk_bk に保存されます。

以上で、OpenJDK の適用は終了です。

WebFOCUS リリースノートについて

『WebFOCUS リリースノート』には利用される環境によって必要な設定および注意点が記載されています。
WebFOCUS をご利用の前に必ずご一読ください。

リリースノートは以下のサイトからダウンロードしていただくことができます。

<https://wfp.ashisuto.co.jp/service/>

リリースノートをダウンロードするためには、WebFOCUS Knowledge base へのアカウント登録が必要です。アカウントをお持ちでない場合は、上記 URL 上に表示される「WebFOCUS Knowledge base とは？」のリンクからアカウントの申し込みを行ってください。

以上